

国語 第3学年 四まいの絵を使って 検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：絵の出来事をどう並べるかで話の流れが変わることを確かめ、内容のまとまりを考えて書く。絵にない事実は自分の想像として示す。B(1)イの学習として、絵の並びの案、話の中心、段落ごとの出来事、順を選んだ理由。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、書く内容の中心を明確にし、段落のまとまりや相互の関係に注意して構成を考えているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。B(1)イの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：絵の並びの案、話の中心、段落ごとの出来事、順を選んだ理由を残す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、B(1)イに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4：つまり児童にはどんな支援をするか。

返し：絵の説明を順に書くだけで話の中心がない、絵に描かれたことと想像を区別しない。これに対して、教科書の絵は複製せず手元で確かめる。教師の独自の出来事カードでも、順を替えた時に必要になる接続や説明を比較し、内容のまとまりごとに段落を考える。〔知識及び技能〕(1)カとB(1)イを切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「どの順にすると、出来事のつながりが伝わる話になりますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、B(1)イに関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：絵の並びの案、話の中心、段落ごとの出来事、順を選んだ理由は紙に記録できる。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をB(1)イの評価の代わりにしない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。B(1)イで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：この教材で、練習と使えるようになった姿をどう分けるか。

返し：教科書の絵は複製せず手元で確かめる。教師の独自の出来事カードでも、順を替えた時に必要になる接続や説明を比較し、内容のまとまりごとに段落を考える。完成品だけでなく、絵の並びの案、話の中心、段落ごとの出来事、順を選んだ理由。を見て、確かめ方と変えた理由を判断する。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「どの順にすると、出来事のつながりが伝わる話になりますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。B(1)イに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

